

令和5年度 延岡しろやま支援学校 学校自己評価

※ 自己評価の基準 4:十分達成された 3:概ね達成された 2:やや不足な点がある

1:ほとんど達成されていない 0:わからない(無回答)

提出総数 137名

ビジョン	4	3	2	1	0	評価
ビジョン1 「チャイルド・ファースト&チャレンジド・ファースト」を柱とした学校運営						
(1) 子どもの権利条約、障害者権利条約の理解促進と人権感覚の涵養を図り、併せてコンプライアンス遵守及び言語環境の整備を図る。	18 13%	109 80%	10 7%	0 0%	0 0%	3.1
(2) 校訓及び新しい幼児児童生徒像に基づく教育活動の充実 「表現」自ら考え、自分らしく表現する子ども(思考力・判断力・表現力等) 「実践」学んだことを生かし、実践することも(知識・技能) 「挑戦」夢をもち、自ら挑戦する子ども(学びに向かう人間性等)	10 10%	117 90%	10 10%	0 0%	0 0%	3.0
ビジョン2 「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指した3つの視点(しろやまOPQ)によるカリキュラム・マネジメントの推進 O…Original(オリジナル) 恵まれた教育資源を生かした、本校ならではの教育実践 P…Pride(プライド) 県北のセンター校としての矜持(きょうじ)を示す取組 Q…Quality(クオリティー) 卒業後の豊かな生活を支える生涯学習の推進						
(1) 卒業後の視点を大切にされたカリキュラム・マネジメント ・自立や社会参加の基礎となる意欲と力の育成 ・地域とつながる教育活動 ・幼稚部から高等部まで一貫したキャリア教育の推進	12 9%	100 73%	25 18%	0 0%	0 0%	2.9
(2) 複数障がいに対応した特別支援学校教職員としての専門性の向上 ・「基本となる障がいの理解」の徹底 ・OJTの推進と専門的指導力の向上 ・オンライン研修や自主研修等OFFJTの推進と研修機会の充実 ・学びの保障のためのICT機器の積極的な利活用	13 9%	98 72%	24 18%	2 1%	0 0%	2.9
(3) スポーツ・文化芸術活動の推進 ・教育活動の工夫と参加・発表機会の充実 ・外部機関連携やICT活用による作品展や校外販売等の推進	29 21%	96 70%	12 9%	0 0%	0 0%	3.1
ビジョン3 子供の学びを支え、可能性を最大限に伸ばす教育環境の整備						
(1) ICT教育の推進と活用 ・オンライン授業や遠隔授業等を取り入れた教育活動の推進	10 7%	91 66%	34 25%	2 1%	0 0%	2.8
(2) 感染症や災害の発生への対応 ・学習指導、生徒指導、災害時対応等の視点で環境整備・校内美化 ・防災委員会を中心とした感染症対策や災害時対応、危機管理対応の強化	19 14%	102 74%	16 12%	0 0%	0 0%	3.0
ビジョン4 「学校の信頼回復」と「働き方改革」						
(1) 「不祥事は絶対起こさない。」という強い覚悟と「高い倫理意識」をもった学校の信頼回復	44 32%	87 64%	5 4%	1 1%	0 0%	3.3
(2) ホームページ、ツイッター、マスコミ等を活用した積極的発信	21 15%	90 66%	23 17%	3 2%	0 0%	2.9
(3) 「見える化」やICT活用による事務作業等の効率化と、質の高い教育活動へ向けた「働き方改革」の推進	6 4%	83 54%	44 29%	4 3%	0 0%	2.7